

広報

あなたと町をつなぐ情報誌

はなわ

2015 10

平成27年10月1日
No.6-2-3



Contents (主な内容)

- ▲平成27年度塙町敬老会 P 2 ~ 3
- ▲地方創生進捗状況 P 4 ~ 5
- ▲全国学力テスト学校別結果公表 P 6 ~ 7
- ▲平成26年度決算報告 P 8 ~ 11
- ▲塙中学生職場体験 P 12 ~ 13

笑顔はじける楽しいひととき

平成27年度塙町敬老会は、9月13日(日)に塙町営体育館で行われました。式典終了後は、さまざまなアトラクションが行われ、参加された招待者の皆さんには、楽しいひとときを過ごしました。



その素敵な笑顔をいつまでも

100歳以上の皆さんです

平成27年9月1日現在

No.	氏名	年齢	性別	行政区
1	松本 敏光様	104歳	男	中塚
2	大野 アイ様	103歳	女	川上三
3	緑川 カク様	102歳	女	那倉
4	保住 シケル様	101歳	女	西河内
5	白坂 利興様	100歳	男	上渋井
6	荒川 ナヲ様	100歳	女	常世中野

(生年月日順)



和やかな雰囲気で皆さん笑顔に (矢塚)



森令子さんによる歌謡ショー (矢塚)



友人と再会



アトラクションに歓声



子どもたちからあめのプレゼント



夏川アキさん(伊香出身)に大興奮

平成27年度塙町敬老会

平成27年度塙町敬老会は9月6日(日)に矢塚会場で、9月13日(日)に塙会場で開催されました。町内の75歳以上の方が招待される敬老会。今年は、矢塚会場で18人(男性7人・女性11人)、塙会場で1,839人(男性714人・女性1,125人)が招待されました。(平成27年9月1日現在)

塙会場の式典では、松本敏光さん(104歳/中塚)に最高齢者表彰が行われたほか、めでたく金婚を迎えた夫婦14組のうち、当日出席の11組に賞状・記念品が贈られました(金婚夫婦受賞者は24組に記載)。式典終了後は、さまざまなアトラクションが行われ、矢塚会場では「森令子歌謡教室によるお楽しみ歌謡ショー」、塙会場では、「レクダンス」「歌謡曲」「フラダンス」や、「はなわふれあいネットサークル」による、あめのプレゼントがありました。また今年は、伊香出身の歌手である、夏川アキさんの歌謡ショーが行われ会場は大いに盛り上りました。塙町の100歳以上の方は6人(平成27年9月1日現在)、健康長寿で笑顔溢れるまち「はなわ」。皆さん、いつまでもお元気で!



友人と一緒に楽しめるのも敬老会の魅力です



人口減少をどう食い止めるか

地方創生と町の活性化

地方創生。昨今マスコミなどで耳にする言葉です。日本の人口は、2008年をピークに人口減少の局面に入り、2050年には9,700万人程度になることが予想されています。さらに、地方と東京圏の経済格差拡大などで、若い世代が地方から流出し、東京圏の一極集中を招いています。これに歯止めをかけるため、若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現し、地域がそれぞれの特徴を生かした事業を開しなければなりません。

今月号は、外部有識者会議などを通して見えてきた、塙町の現状と将来について、お知らせします。

塙町の人口推移と推計



【塙町地方版総合戦略の策定方針】

人口減少を緩やかにする

町職員で組織するプロジェクトチームや、外部有識者会議で出された意見をもとに、今後の塙町が目指す姿、方向性が示されてきました。人口減少が避けられない中で、どうすればその減少率を緩やかにすることができるのかについて、さまざまな意見が出されています。

【自然増減対策】

出生者を増やし、死亡者数を減らす。
また、結婚の促進を積極的に行う。

出会いの場・婚活イベントの実施。また、高齢者が生活しやすい環境をつくる。

【社会増減対策】

転出者を減らし、転入者を増やす。
また、町の特性を生かした雇用を創生する。
竹パウダーを使った農産物、林業研修所、空き家の活用、定住促進住宅、デマンドタクシーなど

【子育て支援】

子どもを産み、育てやすい環境をつくる。
ファミリーサポート事業や、子育て重視の健康センターなどで母子保健事業の充実を図る。

(詳細については後報いたします)

「町独自の事業を展開する」

外部有識者懇談会委員



(敬称略)

区分	氏名	備考
学校	岡司 直也	法政大学 准教授
産業	中島 淳	昭和製紙マネージャー
産業	星 和典	塙町商工会 副会長
婦人	芳賀とし子	東白川郡婦人会 会長
住民	荒川 実	住民代表(元福島県職員)
住民	金澤 秀世	住民代表(元郵便局長)
子育て	西郷 桂子	めだか保育園 園長
青年	本多 幸雄	塙町商工会青年部 部長
産業	鈴木 英昌	株式会社松栄商事 代表取締役
金融	真砂 哲也	株式会社東邦銀行塙支店 支店長
産業	藤田 雅彦	一般社団法人「天領の郷」理事長
産業	青戸 一彦	一般社団法人「天領の郷」監修



法政大学の岡司准教授

委嘱状交付を受ける荒川委員

活発な議論が交わされています

高校生世代を対象に
アンケートを実施しています

主な論点に話し合いを行ってきました。塙町に人を呼び込むために必要な戦略とは何か。人口減少を緩やかにするために何が必要なのか。現在も活発な議論が交わされています。

5ページのグラフ「塙町の人口推移と推計」をご覧ください。塙町の人口は6,000人台に

2040年には塙町の人口は6,000人台になります。これから25年後は、現在の人口の3分の2になりました。6,237人になることが予想されています。(人口問題研究会)このため、一刻も早い対策を講じなければなりません。

外部有識者懇談会を実施

塙町では、国から示された人口ビジョンにより、町長を本部長とした「地方創生推進本部」、中堅・若手職員を中心とした「プロジェクトチーム」、各部門(産業や学校、金融、子育て、住民など)の有識者で構成する「外部有識者懇談会」の会議をそれぞれ開催し、町独自の「まち・ひと・しごと」とについて、話し合いを行ってきました。

皆さんの意見をより一層反映するため、町内在住の高校生世代を対象に、アンケート調査を実施しています。内容は、卒業後の進路および地元への定着意識などで、総合戦略を策定するうえで重要なデータとなります。塙町にとってのより良い総合戦略策定のために、アンケートの回答にご協力を願います。

10月1日現在、塙町では推進本部会議を3回、プロジェクトチーム会議を2回、外部有識者会議を2回開催してきました。外部有識者会議では、「戦略のターゲットをどの層に絞るか」ということを、今後5年間でできることは何かターゲット層を絞る

全国学力・ 学習状況調査の結果公表

■なぜ結果を公表するのか

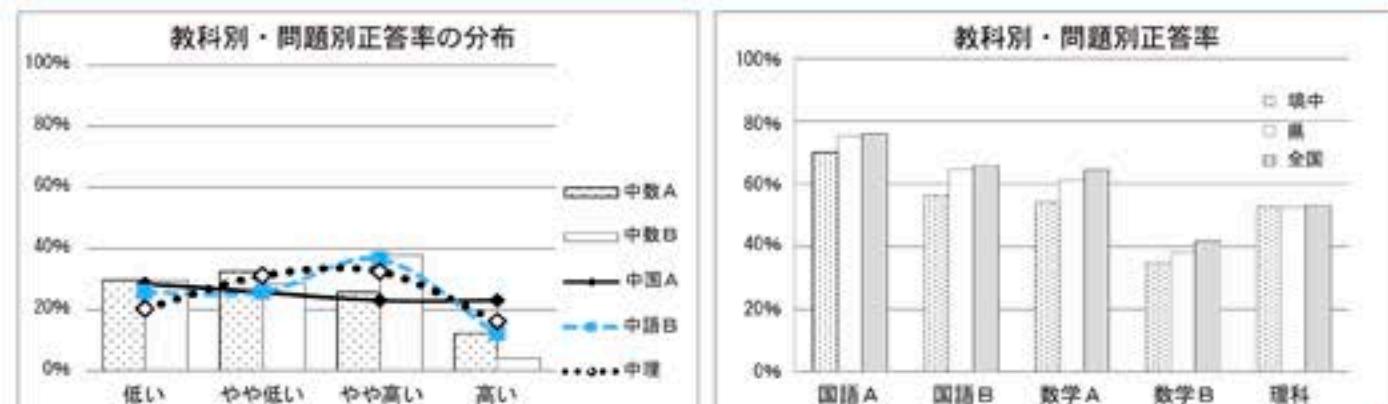
平成26年度から、教育委員会の判断により、学校ごとの結果を公表することが認められています。塙町教育委員会では、結果を公表することにより、学校・家庭・地域が情報共有することができ、結果に応じた対策を講じることができます。そのため、昨年度に引き続き結果を公表することとなりました。

■今年度は理科が追加

「月2回 文部省の『全日本学力・学習状況調査』が、小学校6年生、中学校3年生を対象に全国一斉に実施されました。実施教科は、今年度は理科が加わり、小学校が国語・算数・理科、中学校は国語・数学・理科の3教科でした。

■全体の底上げが図られた

【国語・算数・数学】
A 問題・基本的な問題（知識・理解）
B 問題・応用力・活用力問題
【理科】
A・B 区別なく、一体的な出題



【理科】 正答率では、国、県、町ともにほとんど同じ結果といえます。正答率分布では、「やや高い」の割合が最も多く、「高い」「低い」はそろって少ないという標準的な分布でした。授業や教科書で扱った内容を問う問題は良くできていましたが、別の状況に置き換えた問題では正答率が低く、まだ活用することに課題があります。

どの教科でも無回答率が全国よりも低く、塙町の生徒の前向きに課題に取り組む姿勢の良さがうかがわれます。

が縮まっています。正答率分布では、A問題で「やや低い」「低い」の割合が半数を超えていました。B問題では「やや高い」が最も多いものの「やや低い」「低い」がまだ多い状況です。A問題では正負の数、方程式、文字式など、初步的な誤りが見られました。B問題では、資料から傾向をとらえる問題、解決方法を説明する問題に課題があります。

【国語】平均正答率では、A・B問題ともに全国平均を下回りましたが、A問題では全国との差が縮まっています。正答率分布では、A問題で「高い」が多い一方、「低い」も多く中間が少ない状況です。B問題では「やや高い」「高い」を合わせると半数を超えます。A問題では、適切な語句を選ぶことや品詞を類別することで課題がありました。B問題では文章の意図を読み取ること、伝えたいことを効果的に表現することが課題です。

教育委員会の対策

(◆継続対策 ◇新たな対策)

- ◆町指導主事と町学力向上推進会議を中心に、教員の指導力を高め、町全体で学力向上を目指します。
 - ◆小中学校で進めている「つなぐ教育」をより進め、幼稚園児を含めた幼・小・中11年間を見通した取組を行い、家庭と連携して園児・児童生徒の学習習慣・生活習慣の改善を図っていきます。(ノーメディアDay運動の推進など)
 - ◇塙町教育委員会研究指定、塙町教育推進員制度により指導力向上のための研修体制をより活性化し、町指導主事を核として「分かる・できる」授業、個に応じた授業づくりを進めます。
 - ◆町立図書館との連携、学校図書館の活用を図り、調べ学習や読書活動の充実を図ります。
 - ◇学校図書館司書を配置し、学校図書館と町立図書館が連携し、家庭とともに読書習慣形成に向けた環境づくりを進めます。
 - ◆家庭・地域との連携、授業時間確保のための土曜授業を実施します。

学習状況調査の結果（小・中学校）

小・中学生とも、「毎日宿題をする」など家庭学習に取り組む態度は全国を上回っていましたが、学習時間でみると、「平日（月～金曜日）は1時間未満」が全国より多く、学習時間の確保が必要です。また、「平日の読書時間が30分未満」が、小学生で5割、中学生で6割にのぼり、読書習慣づくりが必要です。1日あたりのテレビ、スマートフォンなどの通話、メールの時間については、中学生では県・全国平均を下回りましたが、小学生では県・全国を全て上回っていました。このことから、町内全校で進めているノーメディアDay運動を通して中学校では自律心が高まってきており、小学校の段階では保護者の方の協力が必要であることがうかがわれます。今後も、学校と家庭での指導が必要です。

町内全ての結果公表につきましては、塙町教育委員会で閲覧いただくことができます。

■問い合わせ 学校教育課 ☎ (43) 4050



【算数】 A問題では、一昨年度と比べ上昇しており、差が縮まってきているといえます。B問題では、県平均を上回り、活用力の高まりが見られます。正答率分布では、「A問題で「やや高い」の割合が最も多くなっています。B問題では「やや高い」「高い」を合わせて半数を超えるますが、「低い」の割合がA問題よりも多くなっています。A問題では整数・小数の計算がよくできていましたが、数の扱いや図形の性質を考えることに課題が見られました。B問題では「割合」で全国の正答率を上回っていましたが、自分の考え方や理由を書いて説明する問題で課題が見られました。

◆ 小学生の結果と問題

平成26年度決算報告

—町の家計簿をお知らせします—

一町の家計簿をお知らせします

しあわせ実感のまち づくりに61億円を支出(一般会計)

一般会計の歳出は60億5,181万円。
前年度に比べ5.2%の増となりました。

一般会計の歳入は65億6,737万円。
前年度に比べ8.0%の増となりました。

項目	平成26年度	(単位：%) 早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.0
連結実質赤字比率	—	20.0
実質公債費比率	8.1	25.0
将来負担比率	22.9	350.0

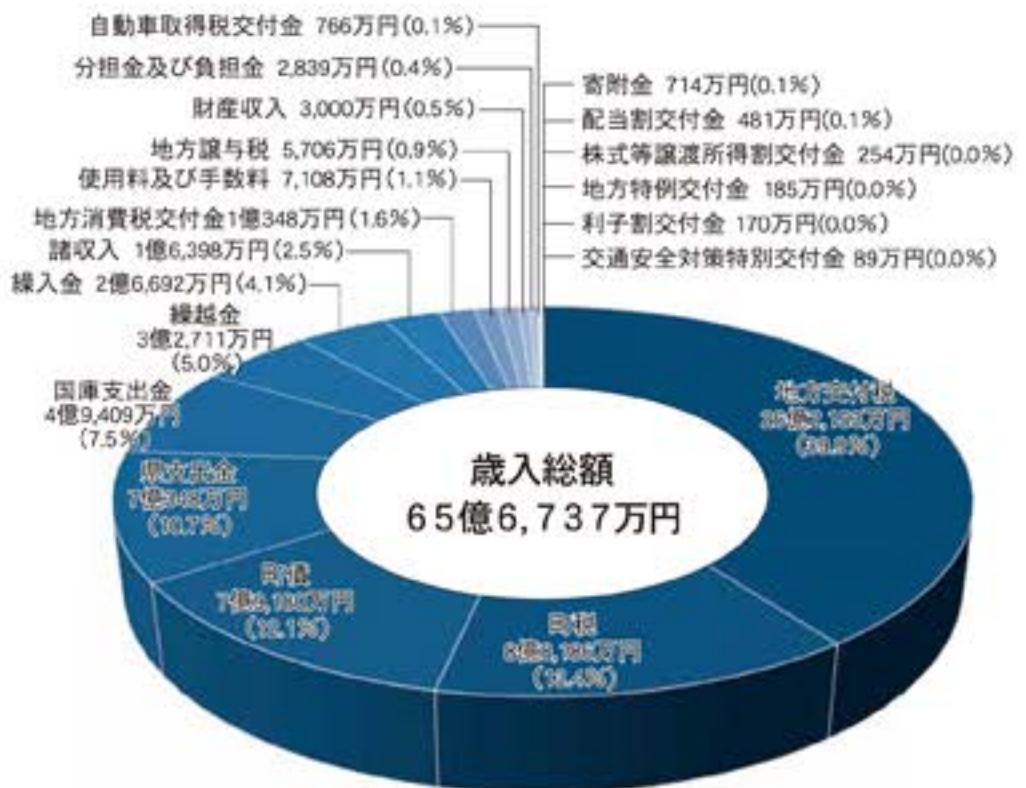
健全化判断比率・・・まちの財政状況の健全度を示す比率で、決算とあわせて、現在の「赤字」・「貯金」・「借金」等の状況を示すもの
実質赤字比率・・・その年のまちの一般会計の収支を示すもの（歳入より歳出が多ければ赤字となります。）

連結実質赤字比率・・その年の一般会計以外の特別会計等を含めて、まち全体の収支を示すもの（歳入より歳出が多ければ赤字となります。）

実質公債費比率 ……その年の歳出の中で、過去に行なった借金の返済にまわっている部分が町の財政規模（標準財政規模）に対してどの程度の大きさかを示すもの

将来負担比率……今後負担しなければならない借金等が町の財政規模（標準財政規模）に対してどの程度の大きさかを示すもの

(参考) 塙町の平成 26 年度決算に係る
標準財政規模は、35億4,786万円と
なっています。(歳入歳出決算総額
とは異なります。)



資金不足比率

項目	平成26年度	経営健全化基準
農業集落排水処理事業	—	20.0
公共下水道事業	—	20.0
填林間工業団地用地取得造成事業	—	20.0
上水道事業	—	20.0

資金不足比率・・・一般会計などの実質赤字に相当するもので、公営企業の特別会計ごとに資金の不足額が事業の規模に対してどの程度あるかを示すもの

◎財政健全化法により、早期健全化基準・経営健全化基準を越えないようにすることとされています。

平成26年度 度設施等利用状況	農村勤労福社会館利用者数	600人
	公民館利用者数(地区館・分館含む)	53,514人
	図書館入館者数	28,427人
	あぶくま高原美術館入館者数	532人
	体育館利用者数	17,052人
	屋外体育施設(野球場等)利用者数	12,267人
	集団健(検)診等受診者数(延べ人数)	11,074人
	予防接種者数(ポリオ、BCGほか)	3,239人
	健康相談	1,910人
	のびのび教室(実人員)	69人
その他	妊婦健診	73人
	乳幼児健診	384人
	児童・生徒・教職員 健診	751人

平成26年度 総入出決算総括表

項目		歳入決算額	歳出決算額	差引額
特別会計	一般会計	65億6,737	60億5,181	5億1,556
	国民健康保険	11億3,095	11億1,254	1,841
	筆原財産区	37	25	12
	農業集落排水処理事業	1億7,288	1億7,284	4
	瑞林閣工業団地用地取得造成事業	600	92	508
	公共下水道事業	1億8,079	1億8,062	17
	介護保険	8億9,790	8億8,140	1,650
	後期高齢者医療	9,919	9,902	17
合計		90億5,545	84億9,940	5億5,605

項 目	歳入決算額	歳出決算額
上水道事業会計（収益的収支）	2億9,307	2億3,417
上水道事業会計（資本的収支）	1億405	2億4,569

町の家計簿でもある「平成26年度決算」をお知らせします。決算は、平成26年度に皆さんが納めた税金をもとに、どのような事業が行われたかを表すとともに、町の一年間の歩み・記録です。

町の会計は、一般会計・特別会計（7会計）および上水道事業会計合わせて9会計あり、各会計の概要についてお知らせします。

特別会計決算

(単位:万円)

■国民健康保険特別会計

項目	歳入決算額	項目	歳出決算額
国民健康保険税	2億4,000	総務費	5,375
国・県支出金等	7億3,251	保険料	6,301
一般会計繰入金	1億140	保険給付費	8億1,579
繰越金等	5,704	一般会計繰入金	3,605
計	11億3,095	高齢者医療・介護等	2億996
		保健事業等	3,304
		計	11億1,254

■後期高齢者医療特別会計

歳入	項目	歳入決算額	歳出	項目	歳出決算額
	総務費	5,375		総務費等	193
	保険料	6,301		広域連合納付金	9,709
入	保険給付費	8億1,579		出	
	一般会計繰入金	3,605			
	高齢者医療・介護等	2億996			
	保健事業等	3,304			
	計	9,919		計	9,902

■笹原財産区特別会計

歳入	項目	歳入決算額	歳出	項目	歳出決算額
	財産収入	1		総務費	25
入	繰越金等	36		計	25
	計	37			

■農業集落排水処理事業特別会計

歳入	項目	歳入決算額	歳出	項目	歳出決算額
	使用料・加入金	3,156		総務費	5,255
	国・県支出金等	800		公債費	1億2,029
入	一般会計繰入金	1億3,326			
	繰越金等	6			
	計	1億7,288		計	1億7,284

■塙林間工業団地用地取得造成事業特別会計

歳入	項目	歳入決算額	歳出	項目	歳出決算額
	繰越金等	570		取得造成費	92
入	財産収入	30			
	計	600		計	92

■公共下水道事業特別会計

歳入	項目	歳入決算額	歳出	項目	歳出決算額
	使用料・加入金	4,151		総務費	8,866
	一般会計繰入金	13,325		事業費	427
入	繰越金等	603		公債費	8,769
	計	1億8,079		計	1億8,062

■介護保険特別会計

歳入	項目	歳入決算額	歳出	項目	歳出決算額
	保険料	1億3,733		総務費	4,476
	国・県支出金等	6億467		保険給付費	8億1,302
入	一般会計繰入金	1億4,766		地域支援事業費	1,784
	繰越金等	824		諸支出金等	578
	計	8億9,790		計	8億8,140

一般会計性質別決算

(単位:万円)

区分	平成26年度	
	決算額	構成比
1. 消費的経費	33億6,045	55.5
(1)人件費	8億9,494	14.8
ア職員給	5億3,390	8.8
イその他	3億6,104	6.0
(2)物件費	7億7,004	12.7
(3)維持補修費	9,061	1.5
(4)扶助費	4億8,501	8.0
(5)補助費	10億2,019	16.9
(6)その他	9,965	1.6
ア投資等	1,000	0.1
イ積立金	8,965	1.5
2. 投資的経費	13億5,949	22.5
(1)普通建設事業費	12億9,652	21.4
ア補助	4億7,293	7.8
イ単独	8億2,359	13.6
(2)災害復旧事業費	6,297	1.0
ア補助	2,905	0.5
イ単独	3,392	0.5
3. 公債費	6億4,912	10.7
4. 繰出金	6億8,275	11.3
合計	60億5,181	100.0

◇消費的経費

支出効果が単年度又は短期間に終わるもの、後年度に形を残さない経費です。

◇投資的経費

各種社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費です。

◇公債費

町債の元利償還金および一時借入金利子を支払うための経費です。

◇繰出金

一般会計と特別会計、または特別会計間で支出される経費です。

平成26年度の主な事業（一般会計）

(単位:万円)

子育て支援・高齢者福祉（民生費 10億1,936万円）

国民健康保険事業	1億 139万円
後期高齢者(長寿医療)医療事業	1億4,936万円
介護保険事業	1億4,766万円
障害者支援事業	2億1,387万円
児童手当支給事業	1億3,884万円
保育園の運営	7,202万円

健康長寿を目指して

学校・生涯学習（教育費 8億4,481万円）

塙中学校エアコン設置事業	3,720万円
塙原幼稚園耐震補強・大規模改修事業	3,577万円
中学校管理運営事業	4,764万円
小学校管理運営事業	9,520万円
幼稚園管理運営事業	9,351万円
放課後児童健全育成事業	739万円

子どもたちにさまざまな学習機会を

健康づくり・環境衛生（衛生費 5億5,566万円）

東白衛生組合負担金	2億1,533万円
上水道事業	1億9,952万円
各種健診事業	3,151万円
各種予防接種事業	1,866万円
合併処理浄化槽整備費補助金	458万円

きれいな水を届けます

町道板庭田野作湯船線改良事業	4,767万円
町道塙台宿線米山橋補修事業	4,115万円
公共下水道事業	1億3,325万円
米全袋検査事業	5,469万円
町単独土地改良事業補助金	1,332万円
農業集落排水処理事業	1億3,326万円
林道開設事業	1億1,022万円

校舎を飛び出し、職業体験！

職業体験

塙中学校2年生72名が参加

9月9日(水)と10日(木)の2日間、塙中学校2年生の体験学習として職場体験が行われ、72名の生徒が希望する事業所などで、それぞれの仕事を体験しました。生徒たちは、慣れない仕事に戸惑いながらも、与えられた仕事に熱心に取り組み、働くことの大切さを学びました。学校内では体験することのできない貴重な体験をし、将来を考える良い機会となりました。



心を込めてご飯をよそります（清華／中学生撮影）



上手に書けてるね（常喜小学校／中学生撮影）



一緒に運動会の練習のお手伝い（塙幼稚園／中学生撮影）



爪をきれいに磨きます（菊地理美容店／中学生撮影）



生花の取り扱いはとても緊張します（はなよし）



初めて見る機械に興味津々（芳賀モーター商会／中学生撮影）

広報はなわ・IP告知放送の仕事を体験



（左から）
保住悠香さん
大越亞季さん
大森美紅さん

私たちは、取材を通してたくさん学ぶことができました。この経験を生かして、これから的生活に役立てていきたいと思います。



役場での職場体験をした皆さん、広報はなわの取材とIP告知放送の録音を体験しました。

録音した内容は「本日の放送内容（大越さん）」、「塙保育園園解放のお知らせ（大森さん）」、「月に一度は水道メーターの点検を（保住さん）」で、9月10日(木)の午後7時30分に放送されました。



はなスプ通信

10月号
toto

サークル活動、イベント等に参加希望の方、お問い合わせの方は、はなわスポーツクラブ事務局にお問い合わせください。
お待ちしております。

第7回塙流灯花火大会旗争奪少年野球大会

8月22日(土)、塙町営グラウンドと塙中学校グラウンドを会場に、第7回塙流灯花火大会旗争奪少年野球大会が開催され、県南地区の中学校10校が参加しました。

塙中学校の金澤翔太くんが選手宣誓を行って競技が開始され、白熱した試合が繰り広げられた大会となりました。大会の結果は以下の通りです。

優勝 泉崎村立泉崎中学校
準優勝 白河市立東中学校
第3位 塙町立塙中学校
白河市立白河第二中学校



第22回カローリングカップ全国大会

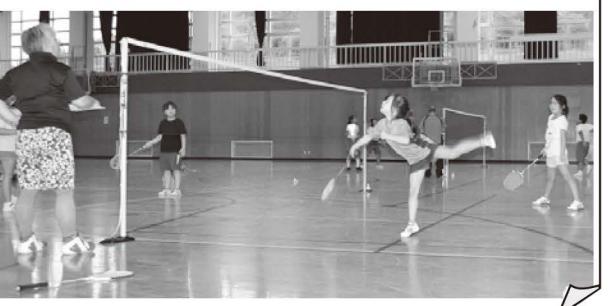
9月6日(日)、愛知県名古屋市、稻永スポーツセンターで、第22回カローリングカップ全国大会が開催されました。全国から124チームが集まり、塙町からは2チームが参加しました。日頃の練習の成果を充分に発揮し、楽しむことができた大会となりました。毎週金曜日にはカローリング教室が行われています。興味のある方はご連絡ください。



バトミントン教室

9月4日(金)、塙町営体育館でバトミントン教室大会が開催されました。塙町内小学生を対象に、毎週金曜日に活動しているバトミントン教室の参加者による大会で、27人が参加しました。バトミントン教室の参加者にとって始めての大会でしたが、楽しんでプレーすることができました。結果は以下の通りです。

5・6年生の部ダブルス優勝
鈴木有希乃・鈴木花奈ペア
3年生以下の部ダブルス優勝
瀧深杏莉・藤田柚葉ペア
4・5年生の部シングルス優勝
小峰天姫



いますぐ検索！

はなわスポーツ

検索

携帯電話からでも
アクセスできます



HP内ブログにて、日々の活動の様子をアップしています。

NPO法人
はなわスポーツクラブ
<http://hanawa-fsc.jp>
塙町大字塙字桜木町80(塙町営体育館内)
☎ 0247-57-6589 FAX57-6587
mail:hanawa.fsc@gmail.com



マナビィはなわ

~塙町生涯学習だより~ 10月号

発行：塙町教育委員会生涯学習課

問い合わせ

■生涯学習課
☎ 43-2644

■塙町公民館
☎ 43-0320

■まなびとファインダー URL
<http://www.yumemanabito.jp>

第26回町民親善球技大会が開催され、壮年・青年ソフトボールの部、家庭バレー部が8月30日(日)、野球の部が9月6日(日)に行われました。各チームとも日頃の練習の成果を発揮し、白熱した試合が繰り広げられ、会場は大歓声に包まれていました。各種目の結果は以下の通りです。



▲青年ソフトボールの部 優勝 大蕨



▲壮年ソフトボールの部 優勝 川上三区



▲野球の部 優勝 塙六区(3連覇)



家庭バレー部 優勝 台宿バレー部(11連覇)

◆野球の部
参加チーム数 7
第3位 植田A
準優勝 大蕨
優勝 塙六区

◆家庭バレー部
参加チーム数 10
第3位 片貝バレ
準優勝 西河内バレ
優勝 台宿バレー部

◆青年ソフトボールの部
参加チーム数 16
第3位 上渡井B
準優勝 伊香
優勝 大蕨

◆壮年ソフトボールの部
参加チーム数 12
第3位 東河内体協
準優勝 植田B
優勝 川上三区

大会結果

10月なかよしルーム参加者募集♪

10月のなかよしルームは「遠足～きれいなお花にうつとり～」です。8月にリニューアルオープンした湯遊ランドはなわダリア園へ、スクールバスでお出かけしましょう♪
きれいなお花とお子さんの写真を撮って、楽しい思い出づくりをしましょう♪(事前申し込みが必要です)

日 時：10月16日(金)午前9時30分～12時00分
集合場所：塙町公民館

費 用：350円(ダリア園へ入園する方のみ)

持 ち 物：おやつ・飲み物

申込期限：10月15日(木)

※定員になり次第締め切ります。

申し込み：塙町公民館 ☎ 43-0320

なかよしルームは、0歳から幼稚園入園前の子さんとその保護者を対象にした子育て講座です。子育て中の皆さんで交流し、情報交換やお友だちの輪を広げる場としてご活用ください。

お母さんだけでなく、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんの参加も大歓迎です！



Town Topics



▲頭を垂れる稻穂に農作の喜びを感じました

収穫の喜びを実感

—常豊小学校稻刈り—

9月16日(水) 常豊小学校の稻刈りが、常世中野地内にある学校田で行われました。3年生から6年生の児童が参加し、保護者などの協力を得ながら、今年5月に自分たちで植えた稻の稻刈りから棚掛けまでを体験しました。参加した児童たちは、自分たちで植えた稻を収穫する喜びを実感するとともに、11月に予定されている餅つきや、会食を心待ちにしていました。

交通安全を呼びかける

—笛原小学校「交通安全・地域安全合同鼓笛パレード」—

9月18日(金) 9月21日(月)から30日(水)にかけて展開された「秋の全国交通安全運動」に合わせ、笛原小学校児童95名による鼓笛パレードが行われました。「外出は 明るい笑顔と 反射材」をスローガンに、川上字堀ノ内から山形字森ノ根までの県道塙大津港線をパレードしました。息の合った見事な演奏で、地域住民に交通事故防止と、犯罪のない明るい社会づくりを呼びかけました。



▲指揮者のもと、息の合った演奏で交通安全を呼びかけました



▲難しい折り方も丁寧に教えてもらいました

懐かしい遊びを体験

—塙小学校1年生が祖父母と交流—

9月18日(金) 塙小学校1年生と祖父母との交流会が、同校体育館で行われました。昔ながらの遊びの体験と、祖父母との交流を目的に行われ、折り紙、あやとり、けん玉、コマ回しなどの昔遊びを体験しました。児童たちは、普段体験することのできない遊びに興味津々で、各コーナーでは、おじいちゃん、おばあちゃんが先生となり、児童たちに丁寧に教ながら、楽しいひとときを過ごしていました。



▲今年も糖度が高く、試食者からも大好評でした

今年もおいしくできました

—はなわのメロン生産組合試食会—

9月3日(木) 新たな町の特産品としてブランド化を目指す「はなわのメロン」。はなわメロン生産組合(高木敬太郎組合長)による試食会が、道の駅はなわで行われ、竹パウダーを使って栽培した緑系・赤系のメロンを試食しました。設立して6年目になる同組合(会員数10人・栽培面積2,180平方㍍・植栽本数1,222本)。昨年より面積・植栽本数を増やし、糖度抜群のメロンができました。現在、道の駅はなわおよび東京都葛飾区のアンテナショップ「ダリちゃんショップ」で販売中です。



▲福島県発明協会長賞を受賞した鈴木園さん
(塙小6年／ワンスポットクーラー)

アイディア満載

—第34回塙町発明工夫展—

9月8日(火) 9月2日(水)に行われた第34回塙町発明工夫展の審査会の結果を受けて、受賞者への表彰式が塙町商工会で行われました。町内の小学生から一般まで幅広い応募があった91点の作品から、15点の作品が一般財団法人福島県発明協会長賞や塙町長賞、塙町商工会長賞などの賞を受賞しました。受賞した作品は、11月27日(金)から29日(日)に伊達市で開催される第61回福島県発明展に出品されます。



▲蘭草さん、自転車の旅頑張ってください!

自転車でGO! 蘭草アナが来庁

—寺西代官の教えに共感—

9月8日(火) 福島テレビで毎週土曜午前11時30分から放送中の「サタふく」の人気コーナー「自転車でGO!」のロケが町内で行われ、蘭草アナが町役場を訪問しました。8月中旬から塙町を舞台にロケが行われていて、町内各所を訪れていました。この日は、菊池町長のもとを訪れ、竹パウダーを使用したメロンの試食をし、その甘さに驚いていました。また、菊池町長が、寺西代官の八力条や、湯遊ランドの温泉、グリア園などの観光地を紹介し、「ぜひ行ってみたい」と話していました。

まちの話題

あなたの地区の話題を提供してください。
取材に伺います。
※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、
総務課☎ 43-2111までご連絡ください。



このコーナーでは、東京場会の皆さんの住む街のことや近況について紹介しています。

私の住む街Now

川上 トミ子さん

東京都目黒区在住（植田出身）

-Vol. 8-

この目黒川のほとりの広い公園で、昔の殿様が「サンマは目黒にかぎる」と言った「サンマ祭」が開催されます。

坂を下った先にある長い商店街では、8月初めの土日に、わ踊り、よさこい踊りがあり、遠方から踊り子さんたちが大勢来ます。今は東横線も、東武東上線、西武線が横浜元町中華街行きとなり、引込線になりまして、祐天寺駅は、特急も急行も停まらないので少し寂しいです。駅を中心に4つの商店街がありますが、距離が短く、品揃えが少ないので、スーパーを利用するお客様が多いです。そんな静かな町ですが、これからもこの街のために、貢献していきたいと思っています。

うクラブで、研修部長として、年3回の研修を兼ねた日帰りのバス旅行を企画しております。毎回50人前後の参加者が、お土産を両手に、ニコニコとバスに戻る姿を見ていると、次回もクラブのために、楽しい旅ができるよう頑張っていこうと思っています。

近くには目黒川が流れ、都内でも桜の名所の一つになっています。ライトアップされた夜桜は、また一段と神秘的です。花びらが舞い散ると、川面がピンク色に染まり、花イカダも見ることができます。10月には、

【次回は、東京都足立区在住の立花 千里さんです。】

こんにちは赤ちゃん

8月16日から9月15日までの届け出

出生児名	父	母	月/日	住 所
吉田 新柳	栄治	慶子	8/14	台宿
鈴木 渉登	雅尚	利枝	8/14	上石井
鶴志田虹斗	裕也	奈	8/22	上渋井
鈴田 心都	奨	彩華	8/24	植田
上妻 瑞久	久明	明希子	8/27	西河内
鈴木 涼	進也	由希	8/31	代官町

心温まる善意に感謝（9月分）

■ 東京場会会員 武藏野市 永田ミチ 様
100,000円（自然環境整備のため）



随想リレー

お待ちかね！
あなたの出番です。

-Vol.311-

佐藤 友美さん（植田）

職業：サービス業
趣味：睡眠
好きな言葉：おやすみなさい



「たからもの」
塙町植田の佐藤友美と申します。よろしくお願いします。

私は現在、事業を営んでおりました。高校卒業後、アバレルやレジャー施設などで働いていました。日々、仕事に疲れると、自分へのご褒美に、本場仕込みのタイ式整体に通っていました。疲れた心と体を癒してくれる、私ひとりだけのための貴重な空間であり、そのお店は私にとって憧れでした。

ある時、店主（後の師匠）から「ともちゃんもタイ式整体はじめなよー」と声をかけられたのです。思いもよらない提案でしたが、「やる！」と即答（笑）。お世話になつた会社を辞め、修行の旅に、本場タイはチェンマイのスクールへ。（母は心配し、財布が入る腹巻をこしらえてくれました。まるで、ドラ○もんのポケットみたいな。着けたら、とっても暑かった。お母さん、ありがとう。）帰国後は、東京でタイ式のお店で働きながら、都内のスクールへも通いま

した。タイや東京で出会った人々が、優しくて、温かくて、嬉しかった。そんな周りの人々も含め、我が家に構えることができました。（お店をオープンするにあたり、一番親身になって相談に乗ってくれたお父さんは、感謝をしてもらいました。本当にありがとうございました。）

出会った人たちのおかげで、今のお店があります。今までの出会いすべてが、私の宝物です。これからは、さらに皆さんへ癒しの空間を提供できるように邁進します。どうか、温かく見守ってくれたらうれしいです。ありがとうございます。



【次回は羽田祐子さん（板橋）です。】

